

プレスリリース

水稻栽培をJ-クレジット創出につなげる本市初の取り組み

「^{なかほし}八幡平市中干プロジェクト」を始動します

脱炭素の推進と農業者の収入につなげる取り組みです

【発表の要旨】

株式会社バイウィル(本社：東京都中央区、代表取締役社長：下村 雄一郎)と八幡平市は2023年8月22日にカーボンニュートラルおよびサーキュラーエコノミー(循環経済)の推進に向けた連携協定を締結し、J-クレジット(*1)創出に向けて調査・検証を進めてきました。

今回、米の生産が盛んな当市の地域特性を生かし、市の主導により「水稻栽培における中干し期間延長」によるJ-クレジット創出に着手することとして、地域の農家が参加するプログラム型プロジェクト(*2)「八幡平市中干プロジェクト」を立ち上げます。

プロジェクトでは、水稻栽培を行う農家が、水田の水管理の一環として従来から行ってきた「中干し」(*3)の期間を、この取り組みにより「7日程度」延長します。

プロジェクトにかかる手続きは株式会社バイウィルが受託・代行し、さらに、株式会社バイウィルと業務提携している株式会社岩手銀行(本社：岩手県盛岡市、代表取締役頭取：岩山徹)が会員募集の支援を行います。

このことにより農家は負担なくJ-クレジット販売による副収入を得られるほか、生産する米については「環境に優しい米」という付加価値を得ることができます。

※1 J-クレジットとは

省エネ設備の導入や再生エネルギーの活用等、事業者による脱炭素活動により得られたCO2等の温室効果ガスの排出削減量や吸収量を「クレジット」として国が認証したもの。発行されたクレジットは他の企業等に売却することで、購入者はカーボン・オフセットに活用することができる。

※2 プログラム型プロジェクトとは

複数のCO2削減・吸収活動を取りまとめ、1つのJ-クレジット創出プロジェクトとして登録する形態のこと。単独ではプロジェクト登録が非現実的な小規模の削減活動も、取りまとめることでJ-クレジットを創出することが可能となる。

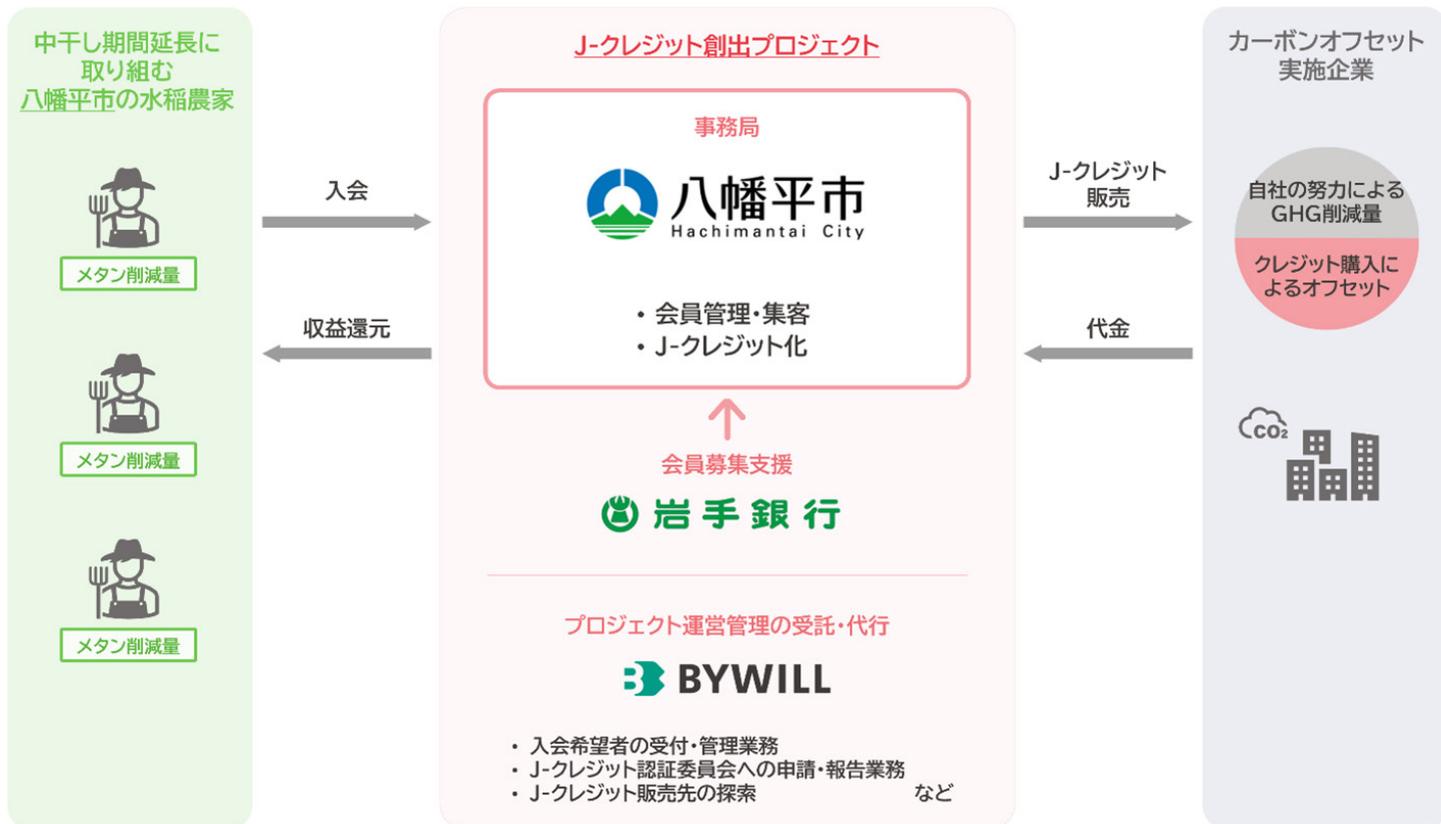
- 実施主体** 八幡平市
- 業務委託先** 株式会社バイウィル 代表取締役社長 下村 雄一郎
(東京都中央区日本橋 2-3-21 群馬ビル 6階)
- 募集時期** 農家への募集は、10月下旬を目途に開始予定



詳しくはこちら
(市ウェブサイト)

次ページに続く

4 事業イメージ



「中干し」で水が引けた状態の水田



※3 中干しとは

水稻栽培で、6月下旬から7月上旬まで、水田の土壌内水分を減少させるために、田から水を引き、田を乾かす、水管理の技術です。

- ▶ 土を干して固くすることによって、秋の刈り取り時の作業性を改善
- ▶ 土中に酸素を供給でき、根腐れ防止や根の活力を高める
- ▶ 過剰な分けつ（根元付近からの枝分かれ）を防止し、成長を制御
- ▶ 土中のメタンガスなどの発生を抑える



中干し期間の延長により

「中干し」の実施期間を従来よりも延長することで、土壌からのメタン（温室効果ガス的一种）排出量を抑制することができ、J-クレジットの創出方法として認められています。

▶ 本市と（株）バイウィルは、2023（令和5）年8月22日、脱炭素の推進に向けた連携協定を締結しています。

▶ 本市と（株）バイウィルは、J-クレジットをはじめとする環境価値を活用して、市の「2050年ゼロカーボンシティ」実現を目指します。

【担当】

農林課

課長補佐 高橋 潤

電話 0195-74-2111(内線 1331)

プレスリリース

八幡平市戦没者追悼式を実施します

【発表の要旨】

先の大戦が終わり79年の歳月が過ぎましたが、平和の大切さや戦争の悲惨さを語り継ぎ世界の恒久平和を願いつつ、戦没者の方々のご冥福とご遺族の幸せを祈念するため、八幡平市戦没者追悼式を実施します。

1 日時

令和6年10月8日（火）午前10時開式

2 場所

西根地区市民センター2階大ホール

3 参加予定人数

遺族約50人、来賓14人

4 実施方法

無宗教・献花方式

5 市内戦没者数

837柱



【担当】

地域福祉課 福祉総務係

主任 高橋 藍

電話 0195-74-2111（内線 1114）

プレスリリース

令和6年度トピック展

「はちまんたい市の土偶展」を開催します

市内の遺跡から見つかったユニークな土偶を紹介

【発表の要旨】

縄文人がつくった土偶は、その姿・形から女性をモデルとしているものが多く、祈りの道具としてまつりなどにつかわれていたと考えられています。その表情はとても豊かで、どれも個性的です。

本展では、八幡平市内の遺跡からみつかったユニークな土偶を紹介します。

- 1 会期** 10月8日(火)～12月8日(日)予定
※休館日を除く。
- 2 会場** 八幡平市博物館 体験ホール
- 3 付帯事業**
 - ・土偶ランプシェードづくり 10月19日(土) 10時～11時
 - ・土偶スタンプづくり 11月9日(土) 10時～11時※各イベントは定員10名

4 主な展示予定の土偶



かみとない 3
上斗内Ⅲ遺跡出土

上斗内Ⅲ遺跡からみつかった三角顔の土偶は、耳に穴をあけて、耳飾りをした女性を表しています。

大英帝国博物館に
行ったことあるよ



うったない12
打田内Ⅻ遺跡出土

打田内Ⅻ遺跡の土偶は、上半分がみつかっており、長い腕をあごの下に置き何か考えているかのような表情です。

畑の持ち主さんが、
拾ってくれたんだよ



まつおかまいしかんじょうれっせき
松尾釜石環状列石出土

松尾釜石環状列石でみつかった土偶は、両腕はありませんがほぼ全身が残っています。昭和28年に慶應義塾大学の発掘調査によって下半身がみつかり、地元で保管されていた上半身と接合しました。やや上を向き、ポカンと口をあけた表情にはどんな思いが込められているのでしょうか。

【担当】

文化スポーツ課 生涯学習係

主事 田中美穂

電話 0195-74-2111 (内線 1144)

プレスリリース

令和6年度

市民憲章推進大会を開催します

市内の地域振興協議会が、まちづくりの実践発表を行います

【発表の要旨】

八幡平市市民憲章の普及と実践活動の高揚を図り、豊かなまちづくりを推進するとともに、安全で活力ある地域づくりのため、本年度で19回目となる八幡平市市民憲章推進大会を11月3日、文化の日に開催します。

今年度は、各表彰に加え特色ある地域づくりに取り組む実践団体の発表を行います。4年前に新型コロナウイルス感染症拡大により中止としたまちづくり講演会に代え、まちづくり実践発表としたものです。

- 主催** 八幡平市、八幡平市教育委員会、八幡平市市民憲章推進協議会
- 日時** 令和6年11月3日（日・祝） 午前9時30分開会
- 場所** 八幡平市西根地区市民センター
- 参加対象者**
 - 市勢功労表彰、市民憲章推進協議会長表彰、江間章子賞対象者
 - 各関係機関・団体
 - 一般市民
- 対象**
 - 市勢功労等表彰・八幡平市市民憲章推進協議会長表彰・江間章子賞授与
 - まちづくり実践発表
- その他** 特になし

【担当】

まちづくり推進課
副主幹 小笠原 文彦
電話 0195-74-2111（内線 1457）



プレスリリース

第27回

少年少女の詩「江間章子賞」授与式を行います

自然や日常生活で心に浮かんだ情景を詩で表現

【発表の要旨】

八幡平市では、市ゆかりの詩人で名誉市民「江間章子先生」の功績を顕彰するとともに、児童生徒が先生の詩の心を引き継ぎ、豊かな心を培うことを願い、平成10年度に少年少女の詩「江間章子賞」を創設し、優秀な作品を表彰しています。今年度も県内小中学校からの応募作品から入賞者を決定し、授与式を行います。

- 主催** 八幡平市
- 主管** 八幡平市教育委員会、八幡平市児童詩研究会
- 後援** IBC岩手放送、岩手日報社
- 入賞**
部門 小学校(低学年・中学年・高学年)、中学生の計4部門
賞 江間章子賞(各部門1編)
八幡平市長賞(各部門1編)
八幡平市教育長賞(各部門1編)
入選(各部門5編)
- 授与式**
日時 令和6年11月3日(日・祝) 午前10時30分～11時
場所 西根地区市民センター
内容 江間章子賞、市長賞、教育長賞の受賞者(計12名)に賞状授与
選考委員長の審査評
江間章子賞受賞者(4名)の詩の朗読
※ 八幡平市市民憲章推進大会内で実施します。
※ 受賞者には、安比塗の賞状を授与します。
- 選考委員**
委員長 赤澤 義昭 氏(日本近代文学会会員)
委員 小野寺久穂 氏(IBC岩手放送メディアセンター
テレビ制作部長)
委員 細田 清 氏(岩手日報社編集局報道センター長
兼論説委員)



市ゆかりの詩人 江間 章子先生
八幡平市名誉市民

詩人。大正2年3月13日、新潟県高田市(現上越市)生まれ。

大正4年に父が急逝し、少女時代を母の郷里、平館村(現八幡平市平館)で過ごした(平館小学校に6年生まで在籍)。

「夏が来れば 思い出す はるかな尾瀬・・・」で有名な「夏の思い出」の作詞などで知られ、現代詩人会会員、日本文芸家協会、日本音楽著作権協会評議員としても活躍した。

平成17年3月12日、東京都内の病院で逝去(享年91歳)。

西根第一中学校校歌や、平館小学校創立100周年記念讃歌を作詞したほか、平成10年に創設した少年少女の詩「江間章子賞」の初代選考委員長も務めた。

西根町名誉町民
(平成7年11月2日)
八幡平市名誉市民
(平成17年9月1日)
東京都世田谷区名誉区民
(平成4年)
群馬県片品村名誉村民(平成10年)

【担当】

教育委員会事務局教育総務課

総務係長 橋場 忍

電話 0195-74-2111 (内線 1362)



令和6年度

八幡平市芸術祭を開催します

多種多様なパフォーマンスの発表や趣向を凝らした作品展示を行います

【発表の要旨】

市民の芸術文化活動の成果を発表、展示する機会を設けるとともに、広く市民に優れた芸術文化活動作品の鑑賞の機会を提供し、市の芸術文化の振興と発展に寄与することを目的とし、「令和6年度八幡平市芸術祭」を開催します。

1 主催

八幡平市芸術祭実行委員会

2 共催

八幡平市芸術文化協会 八幡平市 八幡平市教育委員会

3 開催日時

開幕式 11月4日(月) 9:30～10:00

舞台部門 11月4日(月) 10:00～16:00

展示部門 11月23日(土) 9:00～19:00

11月24日(日) 9:00～16:00

4 会場

西根地区市民センター

《昨年の様子》



市民・サークルなどの作品展示



水彩画家 森 薫（もりかおる）氏
（元日本水彩画会会員）
作品展示

【担当】

文化スポーツ課 生涯学習係

主事 小瀧 香歩

電話 0195-74-2111（内線 1144）

プレスリリース

10月のハチ押しイベントを紹介します

駅前、クラフト、恒例イベントなどで、10月も市内が賑わいます

【発表の要旨】

八幡平市の恒例イベントを今年も下記により開催します。八幡平の紅葉も見頃で、毎年多数の方が来場します。各イベント期間中は各種ステージイベントや物産・特産品の販売等が行われます。

各イベントの詳細は、別添チラシをご覧ください。

1 もいり市

- (1) 期日 令和6年10月6日(日)10:00～15:00
- (2) 場所 八幡平市松尾総合運動公園(アリーナまつお)
- (3) 主催 もいり市実行委員会事務局
- (4) 内容 詳しくは、別添チラシをご覧ください。
- (5) 問い合わせ先 八幡平市商工会 TEL 0195-74-2040

2 八幡平山賊まつり

- (1) 期日 令和6年10月12日(土)～令和6年10月14日(月・祝) 10:00～16:00
- (2) 場所 八幡平市さくら公園イベント広場
- (3) 主催 八幡平市観光イベント実行委員会 事務局:(一社)八幡平市観光協会
- (4) 内容 詳しくは、別添チラシをご覧ください。
- (5) 問い合わせ先 (一社)八幡平市観光協会 TEL 0195-78-3500

3 八幡平紅葉まつり

- (1) 期日 令和6年10月19日(土)～令和6年10月20日(日) 10:00～15:30
- (2) 場所 岩手県民の森 フォレストアイ駐車場
- (3) 主催 (一社)八幡平市観光協会
- (4) 内容 詳しくは、別添チラシをご覧ください。
- (5) 問い合わせ先 (一社)八幡平市観光協会 TEL 0195-78-3500

4 はちマルシェ 2024

- (1) 期日 令和6年10月19日(土) 10:00～16:00
- (2) 場所 JR大更駅周辺(フーガの広場・西根総合支所前駐車場)
- (3) 主催 大更駅前はちマルシェ実行委員会
- (4) 内容 詳しくは別添チラシをご覧ください。
- (5) 問い合わせ先 八幡平市商工観光課 TEL 0195-74-2111(内線1311・1317・1337)

5 あしろマルシェ

- (1) 期日 令和6年10月26日(土) 12:00～
- (2) 場所 JR荒屋新町駅
- (3) 主催 Ichibizm
- (4) 内容 物販等を予定しています。詳しくは、問い合わせ先に確認してください。
- (5) 問い合わせ先 Ichibizm TEL 0195-72-2110

【担当】

商工観光課 観光振興係

田村 崇宏

電話 0195-74-2111(内線1313)